

輝く瞬間！ 「こころ弾む物語」 計画（案）

組織拡充委員会

日頃は組織拡充に向け、また本年は中途退団阻止に向け、鋭意努力されておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、最近思うところがあります。

皆様ご存じかどうかわかりませんが、いろいろな職業のイメージアップというか、社会的にその職業を認知していただくために、主人公が特殊な職業という設定でテレビドラマなどが放送されています。

昔は、スポーツ選手、警察官、弁護士、医者などが定番だったと言えますが、代表的番組「海猿」をご存知でしょうか、海上保安庁の海難救助専門レスキュー隊員を主人公にし、テレビや映画で海上保安庁の船舶などを使って、今まで一般にはほとんど認知されていなかった主人公にスポットライトをあて、イメージアップを図るため、かなり海上保安庁が協力していました。

少々前には航空自衛隊の広報官を主人公にした番組が、やはり航空自衛隊の協力で作製、放送されましたし、最近では労働基準監督官が主人公となった番組が放送されています。どの番組もその職業の持つ使命、責務を主人公の熱い情熱をからめて、社会一般に認知されるような構成となっています。

我々日本連盟はかなり広報という意味では後れをとっていますが、本年の日本ジャンボリーには事情から奉仕できませんでしたが、静岡で生活していると何も報道されず、2年後の世界ジャンボリーに至ってはさびしい限りです。

しかし最近、深夜11時過ぎの番組しかもお笑い番組でしたので、ご覧になった方は少ないかともいますが、「アメトーク」という番組がスカウト経験者の芸人を出演者に番組を放送していました。これがなかなかすぐれもので、スカウト活動を程良く説明し、富士章、菊章取得者の技能のすごさなどを見せつけ、かなり社会的に認知される内容ではなかったかと感じています。日本連盟と東京都連が認め、サポートしていたと日連ディレクター大久保氏にお聞きしました。

まえがきが長くなりましたが、いま何かというと、「危機的状況だ、登録人員減少、指導者の資質向上、基本に忠実な活動 etc.」と問題点を突き付けられ、こうだあーだと言われ、モチベーションが下がる一方で、何からどう手を付けて、どうしたらいいのかわからない状況に陥っているのではないでしょうか？

そこで、「輝く瞬間！ こころ弾む物語」と題して冊子を作りたいと考えました。スカウト活動で感動した瞬間、風を、香りを感じた瞬間、楽しかったこと、スカウト活動を続けているのは何か心に触れた感動があったからではないのでしょうか。我々が自分自身の言葉で、社会に対してこんな素晴らしい活動だと、語らなければいけないのだと思います。否定的なことでなくこの冊子を読むと元気が出る、魅力を感じる、モチベーションが上がるそんなものがあつてもいいのではないかでしょうか。

皆さんの想いが詰まった冊子を作り、保護者にも地域社会にも広く認知していただく第一歩としたい。というと大げさすぎますが、新規登録に対しても、中途退団に対しても、モチベーションの高揚にも一助になるものだと思います。

ぜひ明るく楽しいエピソードで満たしたいと思っていますがいかがでしょうか。

輝く瞬間！ こころ弾む物語（仮称）

一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟
組織拡充委員会



落ち込む情報ばかり

前向きに行動しよう！と思うが
苦言を言われ、
現状を考えると
何をするにも気持ちが△



振り返ってみましょう。
ボースカウトに入った時
指導者になった時。

活動中にワクワク、
ドキドキしたこと。
感動した瞬間！



我々の活動は 危機的状況



- ・登録人員減少が止まらない。
- ・中途退団者が多い。
- ・プログラムがつまらない。
- ・指導者の資質が落ちている。



だけど、だけど

・続いている
スカウトもいる。

・情熱を持ち続いている
指導者もいる。



お願ひです！

- ・あの瞬間が、あることがあるから
- ・あの風を、あの香りを感じたから
- ・あんなことが楽しくて



だから活動を
続いているんだ！



お願いです！

- ・あの瞬間
- ・心温まる。
- ・あの感動
- ・元気になる。
- ・あの手紙
- ・楽しくなる。
- ・あの語らい
- ・感激する。



自分の言葉で！ 自分の想いを！

スカウト活動の
素晴らしさを！
楽しさを！
感動を！



誰が？ 我々が！ いつ？ 今でしょ！

- ・保護者に！
- ・地域社会に！
- ・もちろんスカウトに！
- 指導者に！



冊子作りの原稿を 募集します。

皆さんの「輝く瞬間！」
「心が弾む話」を。
ぜひ組織拡充委員会に
お寄下さい。
写真もあれば幸いです。

